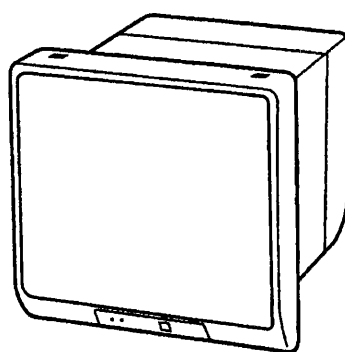
TOSHIBA

東芝空調換気扇
取扱説明書

形名
VFE-100X
VFE-100XC

もくじ

安全上のご注意……1～2

各部のなまえとはたらき…………3

使いかた…………………………4

お手入れのしかた…………5～6

仕様………………………………6

修理を依頼される前に…………7

修理とお取り扱いのご相談は……7

- このたびは東芝空調換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 取付説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

安全上のご注意

●ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、※物的損害の発生が想定される内容を示します。

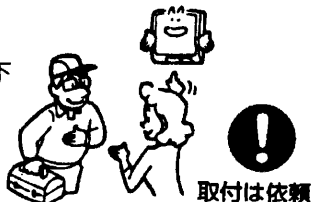
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

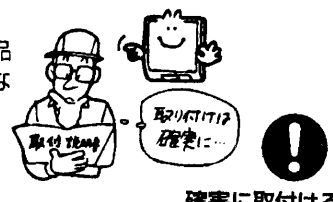
図記号	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「改造禁止」を示します。
電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「電源を切る」を示します。

⚠警告

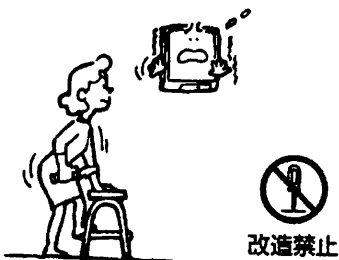
取付・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼すること

取付工事が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

取付は依頼

取付は、取付説明書に従って確実に行うこと

取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

確実に取付ける

改造はしないこと

火災・感電・けがの原因になります。

改造禁止

修理技術者以外の人は分解、修理(※)をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買上げの販売店、または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

分解・修理禁止

こげ臭い、煙がでているなど、異常のときは、運転を停止し電源ブレーカーを「切」にすること

異常のまま運転を続けると、火災・感電の原因になります。
※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

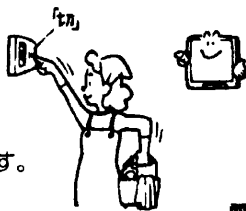
電源を切る

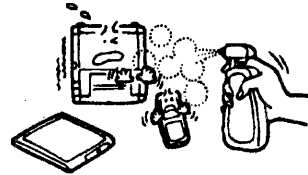
可燃性ガスが漏れたときは、本体の運転・停止をしないこと

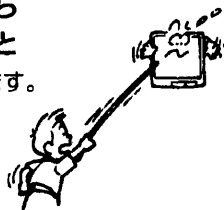
ガス爆発の原因になります。
可燃性ガスが漏れたときは、窓を開け換気してください。

運転・停止禁止

⚠警告

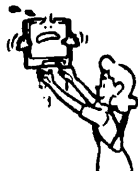
お手入れのときは運転を停止し電源ブレーカーを「切」にすること
感電・けがの原因になります。

電源を切る

電気部品に水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしないこと
漏電により火災・感電の原因になります。

水かけ禁止

本体とパネルの隙間から棒や針金を入れないこと
感電・けがの原因になります。

接触禁止

差込みプラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと（差込みプラグ付の場合）
火災の原因になります。

ほこりをとる

ぬれた手で運転ボタンに触れないこと
感電の原因になります。

水ぬれ禁止

電源は交流100Vを使うこと
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

交流100V使用

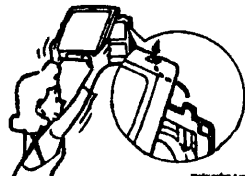
⚠注意

本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付けること
落下により、けがをする原因になります。

確実に取り付ける

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜くこと（差込みプラグ付の場合）
コードに傷がつき、火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと
本体・部品の落下によりけがの原因になります。

使用禁止

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切ること
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。

電源を切る

炎を近づけたり、あてたりしないこと
火災の原因になります。

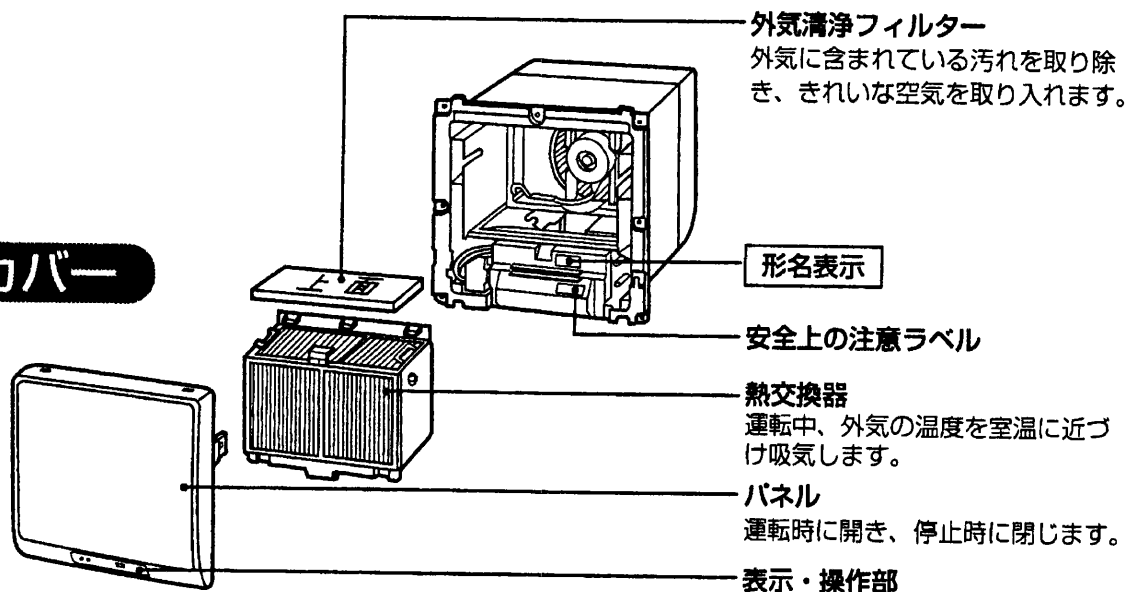
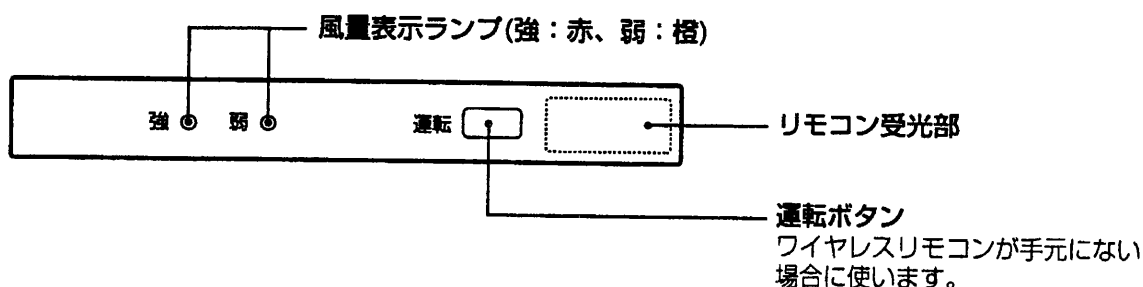
炎禁止

浴室など湿気の多い所では使わないこと
漏電により火災・感電の原因になります。

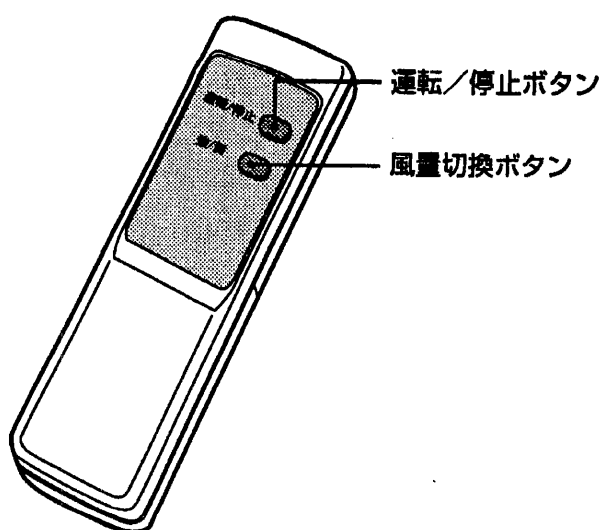
使用禁止

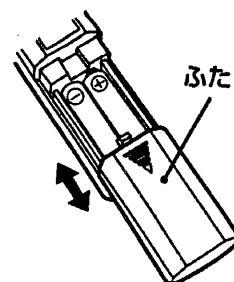
お手入れのときは、ゴム手袋を着用すること
手袋を着用しないと、けがの原因になります。

手袋着用

各部のなまえとはたらき

(使いかた4ページ)

リモコン

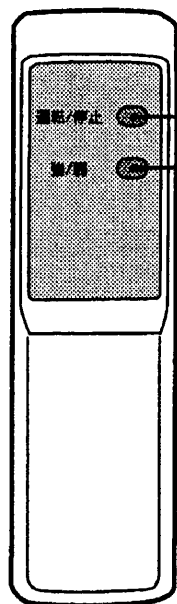
(使いかた4ページ)

リモコンへの電池の入れ方(お使いになる前に)

1.ふたをあけます。
2.電池を入れます。
　⊕⊖の表示に合わせ、単4乾電池2本を入れます。
3.ふたを閉めます。

お願い

電池の破裂や液もれを防ぐため、次のことをお守りください。
電池は単4形乾電池(R03)2個をご使用ください。

- ●充電式(Ni-Cd)電池は使わないでください。
- ●長時間使用しないときは、電池を取りはずしてください。
- ●目安として本体がリモコンで作動しづらくなりましたら早めに電池をお取り換えください。
- ●電池の取り換えは、同じ種類の新しい電池を2個同時に取り換えてください。

使いかた リモコンまたは本体の運転ボタンにより操作します。

リモコンの使いかた

運転／停止ボタン

運転させるとき、停止させるときに押します。

●停止中に押すと—運転します。
●運転中に押すと—停止します。

風量切換ボタン

ボタンを押してお好みの風量を選びます。

●ボタンを押すたびに「強」と「弱」が切り換わります。

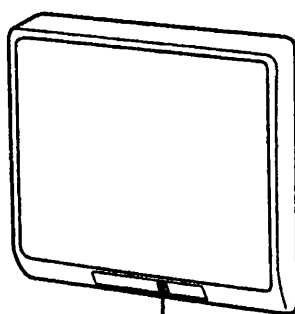
リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。

●操作可能距離は正面で約5m以内です。
受光部に対して斜めになるほど距離は短くなります。

お願い

●運転、停止時にパネル開閉用モーターの「カチッ」という音がしますが異常ではありません。
●吹雪や台風などのような雪や風、雨などの強い時には運転を停止してください。
●リモコンを落としたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。（故障の原因になります。）
●複数台の製品を取り付けた場合、他の製品が受信する場合がありますので注意してください。

本体の運転ボタンの使いかた

リモコンが手元にない場合に使います。

●ボタンを押すたびに次の順に切り換わります。

風量表示ランプで確認してください。

次のことをお守りください

●スプレー(殺虫用・掃除用・整髪用など)をふきつけないでください。
変質・破損の原因になります。

●パネルを押したり、無理に引っぱったりしないでください。
可動パネルの故障の原因になります。

●次の場所では使わないでください。
・直射日光があたる場所
・照明器具から2m以内の場所
リモコンがはたらきにくくなることがあります。

お手入れのしかた

機能低下を防ぐため、熱交換器、外気清浄フィルターのお手入れは定期的に行ってください。

お手入れの前に

⚠警告

お手入れの前に分電盤のブレーカーを「切」にすること

感電・けがの原因になります。

電源を切る

⚠注意

お手入れのときは、ゴム手袋を使うこと

けがをする原因になります。

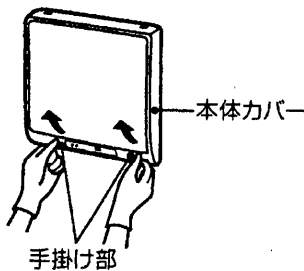
手袋を使う

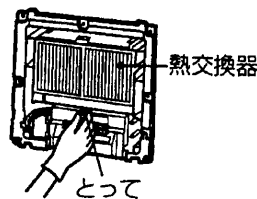
●お手入れは中性洗剤をご使用ください。また、タワシなど固いものは使用しないでください。

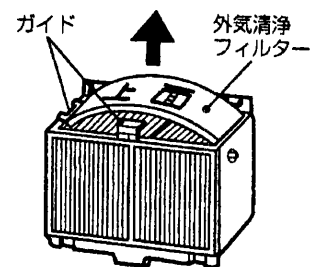
変質・破損の原因となります。

部品のはずしかた

本体カバー

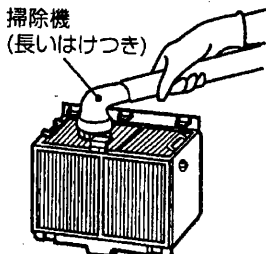
本体カバー下部の手掛け部(2ヶ所)をもって手前に持ち上げるようにしてはずします。

熱交換器

とってを持って手前に引き出します。

外気清浄フィルター

フィルターをたわませてガイドからはずします。

各部の掃除

熱交換器の掃除
(6ケ月に1回以上)

●ほこりを掃除機で吸い取ります。
●掃除機のノズルは長いはけ付きのものを軽く当てて掃除してください。

お願い

●水、熱湯、薬品、揮発生の溶剤などをかけないでください。
●落としたり、強い力を加えたりしないでください。
●火に近づけないでください。

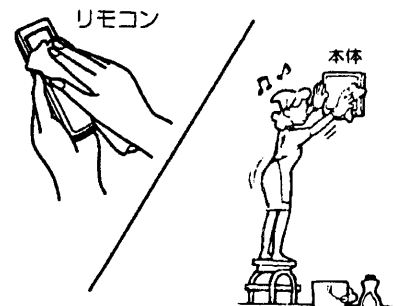
外気清浄フィルターの掃除
(6ケ月に1回以上)

●ほこりを掃除機で吸い取ります。
●汚れのひどいときは、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水で洗剤を流してからよく乾かします。
●押し洗い回数5～6回を目安に空調換気扇システム部材の交換用フィルター（F-100X）と交換してください。

お願い

●もみ洗いはしないでください。
●乾かすときは、日かげで自然乾燥してください。
●熱湯や薬品をかけないでください。
●ドライヤー・ストーブの温風など、高温での乾燥はやめてください。
●火にあぶらないでください。

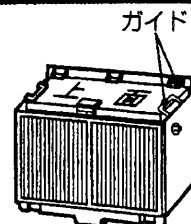
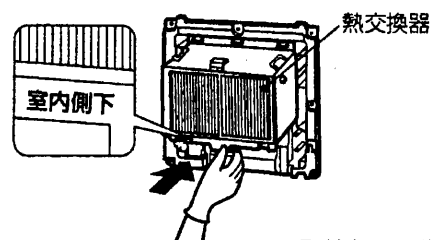
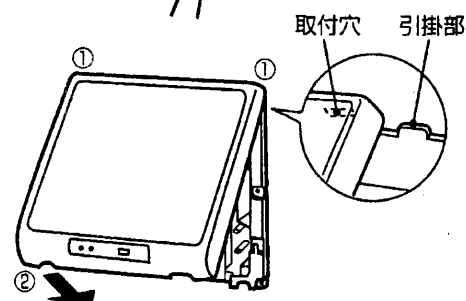
本体、本体カバー、リモコン、リモコンホルダーの掃除
(3ケ月に1回以上)

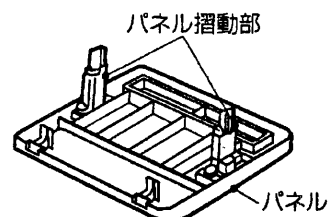
●中性洗剤を水またはぬるま湯に溶かした溶液に布を浸たし、固くしぼってから汚れをふきとります。
●洗剤が残らないよう、きれいな布でふきとってください。

お願い

●本体・本体カバー・リモコンは水洗いしないでください。

お手入れ後の組立

はずした逆の順序で組み立てます。

1 外気清浄フィルターを熱交換器に取り付けます。
印刷面「上面」が見えるように、ガイドに合わせて取り付けます。

2 熱交換器を取り付けます。
「室内側下」の表示を確認して、本体の奥まで確実に押し込みます。

3 必ず外気清浄フィルター、熱交換器が取り付いているのを確認し、本体カバーを取り付けます。
①本体カバー上部の取付穴(2ヶ所)を本体上部の引掛部に引掛け、②下部を押さえてはめ込みます。
本体カバーが確実に取り付いていることを確認してください。
(不完全ですと落下する恐れがあります。)

お願い

- 本体カバーのパネル摺動部には力を加えないでください。
 (故障の原因になります。)
- 本体カバーのパネルを引っぱらないでください。
 (変形し、故障の原因になります。)

試運転

お手入れが終わりましたら正常に運転するか、確認してください。

- 風は正常に出ていますか。
- パネルが正常に開きますか。
- 異常な振動・騒音はありませんか。

仕様

電圧100V (50Hz・60Hz共用)

形名		消費電力 (W)		風量 (m^3/h) 排気		風量 (m^3/h) 吸気		騒音 (dB)		温度交換効率 (%)		質量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VFE-100X, 100XC	強	33	37	105	105	85	85	39.5	39.5	65	65	5.2
	弱	23	23.5	70	68	60	58	30	29.5	75	77	

- 風量、騒音の値は、JIS C9603の測定方法に準じます。

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検
リモコンで作動しない。	●電池が消耗していませんか。 ●電池の入れかた(⊕ ⊖の方向)が間違っていませんか。
スイッチを、入れても風が出ない。 パネルが開かない。	●ブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に、異常音や振動がする。	●換気扇が確実に取り付いていますか。 ●本体カバーが本体に確実に取り付いていますか。

● 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼してください。(有料)
※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

修理とお取り扱いのご相談は

東芝家電製品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合
「東芝家電修理ご相談センター」
0120-1048-41（フリーダイヤル）

新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
「東芝家電ご相談センター」0120-1048-86（フリーダイヤル）
携帯電話・PHSからのご利用は　(03)3426-1048
FAX 03-3425-2101(365日　8：00~20：00受付)

※電話受付：365日　24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

修理を依頼されるときは

出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源スイッチを切り、差込みプラグのあるものは差込みプラグをコンセントから抜いて、上記の販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	空調換気扇
形　名	VFE-100X, VFE-100XC
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 ☎（　　）　－

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

●換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●回転が遅いまたは不規則。
●こげ臭いにおいがする。

ご使用中止

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店又は工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

東芝キャリア株式会社　換気機器部

〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

ET99900501－①